

第23回 EMC環境フォーラム

セッション13 開催日時 / 2017年10月27日(金) 9:30 ~ 16:00 開催地:サンシャインシティ文化会館 7階

市場へ製品を出荷するためには、どのような対応が必要か、CEマーキングを前提として見ると。

~NLFの適用が始まり、新指令が発行され、それらの新指令の適用が全て始まったので注意する!!~

[チェアパーソン] グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

セッション要

CE マーキングシステムが新しい方法に代わったのによく理解されていないために、いろいろな問題が起きている。
CE マーキングシステムの要求内容の変更により、関係する文書関係の作り方が変わっているのだが、そのことが良く理解されていないためにいろいろなトラブルが起きている。製品を市場に出荷するために安全性の要求事項が厳しくなり、単なる指令 (Directive) だけをおこなばいいということではない。EMC 指令だけでは出荷できないということで、どのようなものと組み合わせなければいけないかを理解する必要がある。新指令の適用がすでに始まっており、必要となる関連文書 (技術文書 (TD)、自己宣言書 (DoC)) の作成の注意点、これらの要求となる基本の3文書の内容などを説明する。

□ 講演概要 □

第1講座 CEマーキングシステムの市場監視強化及び新指令の運用と要求内容

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

CE マーキングシステムが始まって 20 年を超え、現在は市場監視強化として問題となった製品の市場回収が多くなっている。新しい法的枠組み (NLF) の適用が要求され、指令・規則・決定が出され、指令だけでは出荷できなくなっており、「今までと同じでよい!」という対応不法では出荷できない事態となっている。すでに取り組みされている企業の担当者、これから取り組む予定の企業、などの方へ必要な情報として、CE マーキングシステムの塚・変更点について話します。

【講演目次】

1. CEマーキングシステムの背景
2. 新たな法的枠組み (NLF) の目的
3. システムの構成・内容とその要求事項 (指令)
4. 最小限必要な製品への要求指令の関係
5. 適合のための自己宣言 (DoC) と技術文書 (TD)
6. 製品の安全性を示すためのリスクアセスメントとは
7. CEマーキングシステムに関係する情報の入手方法と活用
8. 社内での取り組み方法について

受講者の方へ EMC だけでは市場に出荷できないことを理解してもらい、CE マーキングシステムの構成の理解もしてもらう。

第2講座 新指令による運用内容と適用時期と構成上の注意点

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利 氏

特に製品出荷に大いに関係する新指令の内容説明として、EMC 指令、低電圧指令、RE 指令 (R&TTE 指令はもうない)、RoHS2 指令などについて要求事項の内容せつめいをすることによって、皆さんが疑問に追っていることを解消する。

【講演目次】

1. 移行期間が無くなっていることへの注意点
2. 今までの指令尾中で要求されている部分の違い
3. 適合性評価について
4. 他の指令との関係

受講者の方へ 出荷の条件として、多くの指令の組み合わせがある。
製品上どのような指令との構成が要求されているかを理解してもらう。

□ 講演概要 □

第3講座 世界標準に対応した産業機械の安全・環境規制について

グローバル・テクノマネジメント研究所 平戸 昌利氏

産業機械は生産活動に欠かせない機械であるが、世界では産業機械の安全性への要求が厳しく、CEマーキングもその一つです。世界で戦える産業機械を生み出すには世界が求める「安全性」を満たし、「環境規制」に対応する必要があります。急速に進む AI、IoT などから、その陰ではウイルスによる機械への影響なども指摘されており、国際規格でその対応が求められる動きが出てきている。事例をあげて説明する。

【講演目次】

1. 産業機械の機械安全・機能安全
2. 産業機械の安全規制
3. 産業機械のEMC規制
4. 産業機械の安全規制
5. 産業機械のセキュリティ

受講者の方へ **ものづくりに関係する産業機械に関しても、安全性を要求されており、同じく EMC だけでは出荷できない。どのようなものがあるかを理解してもらい、仕事に生かしてもらうことの説明。**

技術セッション / 受講料(テキスト代、昼食代を含みます)

■各技術セッション定員50名(総合セッションへ無料で参加)

*特別優待受講料の方は、①月刊EMCの読者、②早期申込みの方(2017年9月11日まで)、③講師からのご紹介者、④前回フォーラムを受講された方となります。

特典 技術セッション受講者は無料で総合セッションを受講することができますので申込書の□に✓をご記入下さい。

特別受講料	40,000円 / 1日間	75,000円 / 2日間	97,000円 / 3日間	総合セッション / 3,000円 (受講者は無料です)
一般受講料	54,000円 / 1日間	98,000円 / 2日間	145,000円 / 3日間	技術交流会 / 5,000円 (定員100名様)

テキスト販売 / 各セッション10,000円(税込)

※本フォーラムにて使用されましたテキストを技術セッションごとに1冊単位で販売いたします。10,000円(税別) / 冊(送料を含む)

お申込み要領

※**注意** 技術セッションはサンシャイン文化会館 7F、総合セッションと技術交流会は 5Fにて 10月26日(木) のみの開催となります。
 ※新しい人脈を築く技術交流会は定員100名様となりますので、申込順とさせていただきます。

FAX申込書送付先 029-877-1030 または <http://www.it-book.co.jp/EMC/forum/index.html>

■お問い合わせ

〒300-2622 茨城県つくば市要443-14 ソリューションフォーラム事務局 TEL.029-877-0022 E-mail:kagaku-gijyutsu@it-book.co.jp

きりとり線

FAX申込書 [029-877-1030]

お申込日: 2017年 月 日

お申込みセッション 13 市場へ製品を出荷するためには、どのような対応が必要か、CEマーキングを前提として見ると。		◎総合セッションを <input type="checkbox"/> 受講する <input type="checkbox"/> 受講しない	
お申込者(フリガナ)	勤務先	ご所属	
様	様		
ご住所 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> - <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/>			
TEL(<input style="width: 30px;" type="text"/>)-(<input style="width: 30px;" type="text"/>)-(<input style="width: 30px;" type="text"/>) E-mail			受講料
*特別受講料の方は必ずご記入下さい			円
<input type="checkbox"/> 早期申込み <input type="checkbox"/> 前回受講者			技術交流会
<input type="checkbox"/> 月刊EMC読者No(<input style="width: 30px;" type="text"/>)			円
<input type="checkbox"/> 講演者紹介(ご講演者氏名 <input style="width: 30px;" type="text"/> 様)			合計
			円